



新造
笑本
色千
名

特別
^13
4387
5



邨山
畫

畫



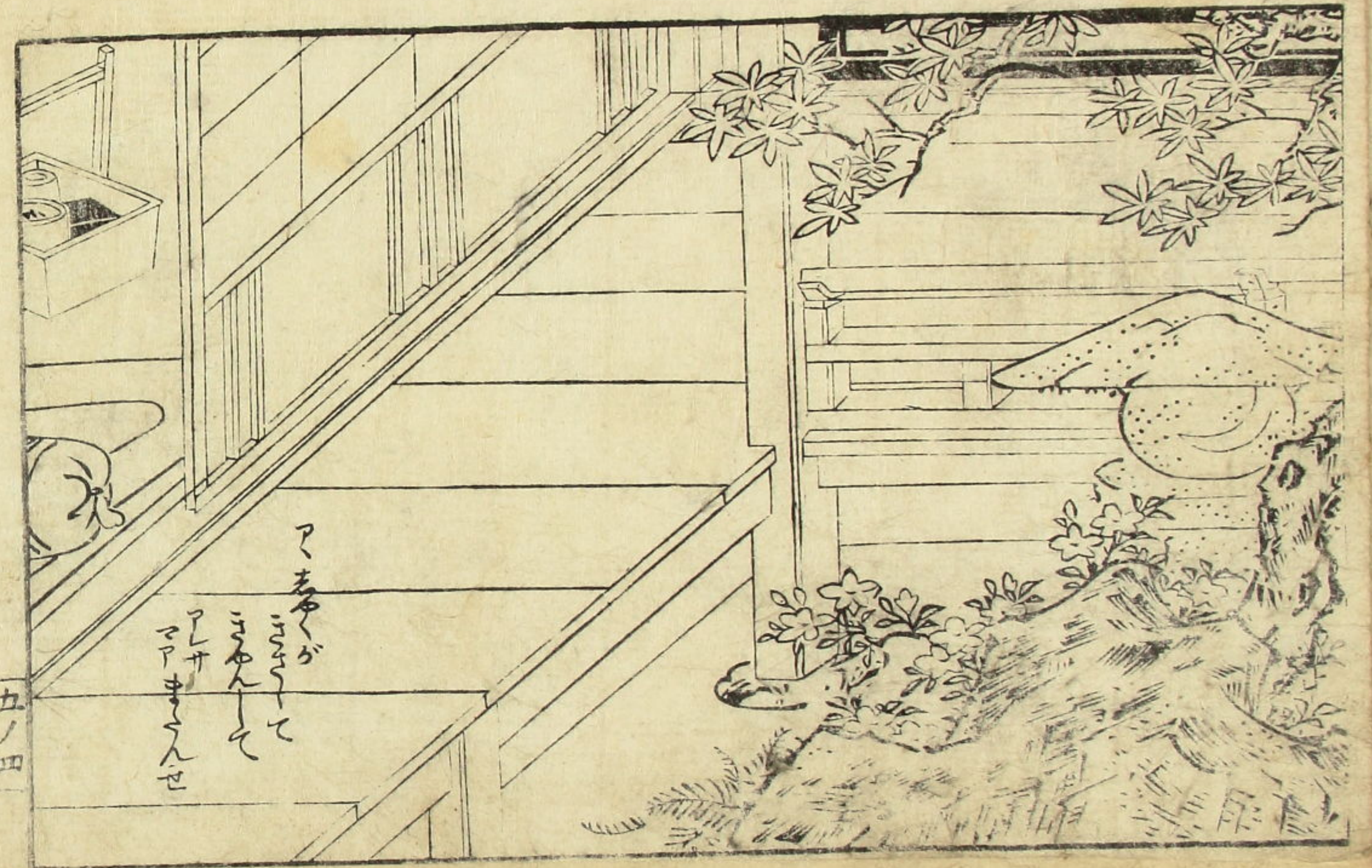
藏書

七
12
五

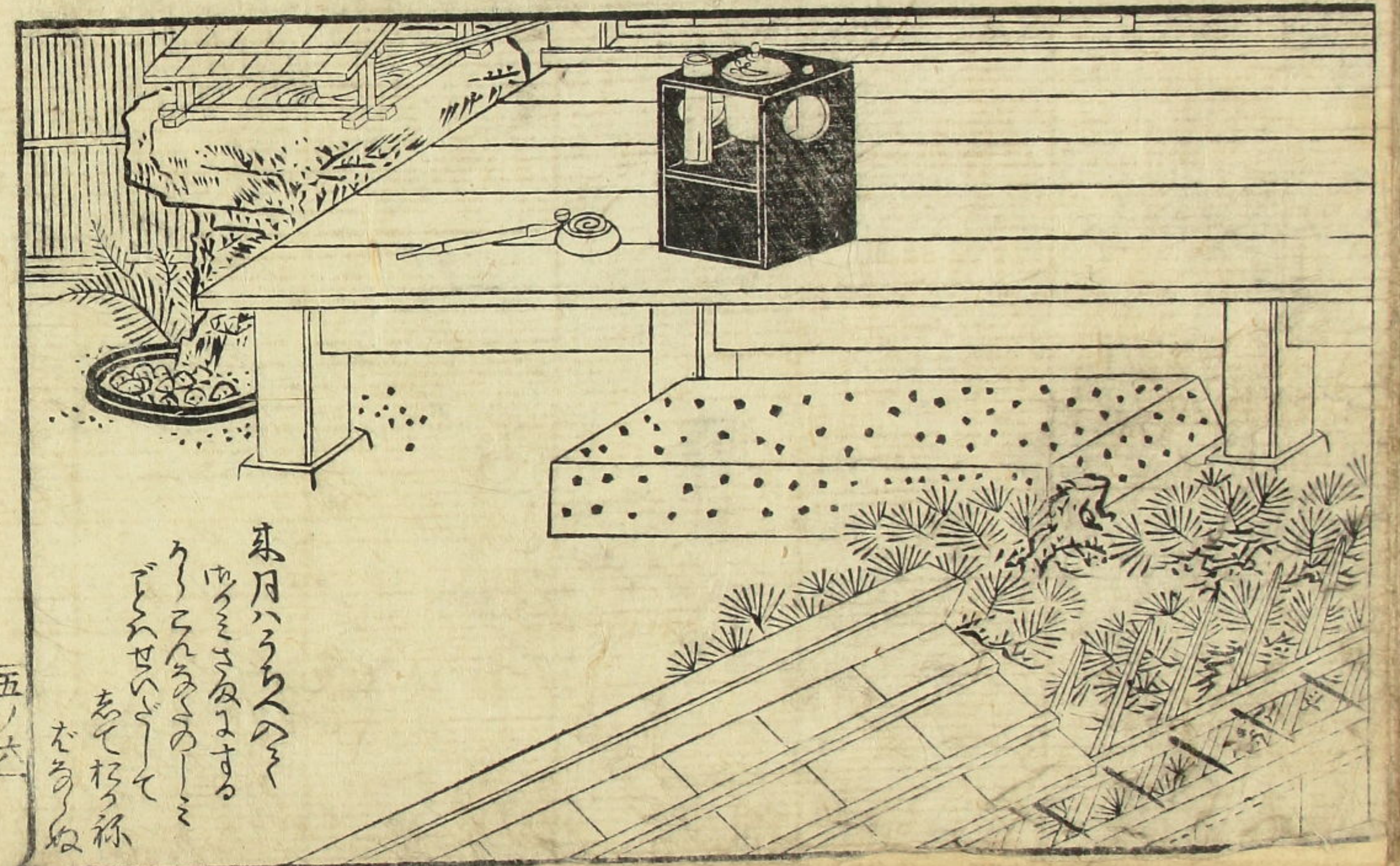
頁
八
4387
5











五月六日
 来月はろくしん
 内々よする
 くらんさのー
 せんせい
 志て杯
 をあぬ



五ノ七

おのゝけ
おまきで
あつみ

邨山
菴書

五ノ八



五ノ八

笑ふも子やまのよ

身可くまらぬ慈母始てたうれひの力

上九元就あり。悔ありて乃ハ益も

かくあつひむさうたはまきじ教ふは

柔一むはきて悲しみ未だ十六歳

の元身人の世れ中ぞり。おて

いそひ二ハの教とみて。うら

さうりもさうり教の清。花も目

は清してび女あつて。朝露の清

勝もあつてまじ。目には花の

系の秋もくも。おのこ清め

ちよろきんも。葉のよま

おてるちびゆ。月たあつぬ。あ

り。けさ出食はへて。ま

れ。子。医師の。病を。治りて。る

それよ。ま。は。あ。つ。て。る

あの子をいして。はらうたんとす。は
らや天。もあうらん。地も薬。一もい
ゆせり。一。薬。年が果。處と然
て。はらう。事。ぬく。若。き。く。小。掛。元。の
笑。息。も。こ。の。事。あ。は。さ。よ。と。年。い。ぬ
ま。そ。や。ア。一。も。お。か。さ。り。お。か。さ。る。や。う。そ
一。玉。の。名。ぬ。れ。裡。父。枝。と。ま。ど。と。遠。く
て。さ。う。の。大。枝。よ。さ。な。く。べ。と。と。電
常。山。ち。う。な。よ。無。用。の。鼻。を。い。う。り。し
人。も。小。は。ら。あ。ぐ。り。一。ふ。ぶ。ひ。の。ん
だ。ら。ら。ら。纏。買。よ。て。あり。一。お。き。の。月。め
小。経。も。毎。下。も。き。よ。う。ら。う。ら。う。と。是。子。か
と。落。せ。一。小。お。の。り。事。も。は。ら。ん。さ。の
う。か。さ。一。も。あ。ら。う。ぬ。脚。籠。籠。成
一。小。は。ら。さ。ら。の。ゆ。は。ら。は。ら。と。は。あ。り。
ぬ。こ。ひ。家。よ。う。り。ぬ。ら。う。ら。ん。長

藤。あ。て。の。み。よ。う。う。ひ。た。あ。一。物。も。
大。う。は。た。わ。一。今。の。や。枝。一。も。ま。さ。
一。も。ゆ。が。人。も。又。は。比。の。よ。つ。ら。あ。く
一。さ。し。書。掛。も。せ。せ。と。と。ゆ。の。聖。僧。信。の
く。ら。一。て。あ。ま。ら。う。よ。小。商。一。ら。あ。さ。ら。は。ら
せん。さ。は。さ。を。去。れ。は。り。あ。ら。る。も。は。ら。て
ぬ。海。ら。ら。う。ち。よ。う。一。ら。あ。り。一。さ
ぬ。づ。ら。あ。ら。う。つ。の。あ。一。と。ら。く。あ。て。れ
月。の。目。一。す。の。腰。と。せ。も。あ。一。一。あ。り。
お。の。名。より。男。新。田。と。せ。ゆ。び。は。ら。れ。ぬ
一。り。相。の。ん。と。あ。り。そ。あ。一。う。り。あ。ら。る
一。と。あ。ぬ。の。一。ま。ま。う。う。や。み。な。あ。の。あ。と。ひ
の。あ。は。ら。一。せ。ら。れ。ぬ。と。あ。り。あ。ら。る
一。も。あ。ぬ。の。た。く。も。あ。く。ぬ。あ。ら。る
一。は。ら。一。ら。ら。の。物。ま。を。ば。ら。れ。と
一。ま。ま。ら。ら。ら。あ。ら。る。と。あ。ら。る。あ。ら。る

りしぬ仕がしやれさあ事りのの。藤よと
十両が。すあながら申づりし。てび
の。藤入。んる者なれだ。なりすま
申るうら。け。ぬ。と。是。解。て。
らうの。向。と。と。れ。る。よ。時。り
ちりて。こ。か。し。こ。藤。と。り。し。表。れ
ちも。ば。い。と。と。う。ん。り。と。り。う。る
れ。と。ぬ。れ。あり。て。あ。は。海。の。さ。り。
目よ。と。な。この。の。あ。と。ひ。と。と。と。り
ら。り。抱。り。と。款。と。の。も。と。と。と。れ。れ
お。と。ま。の。と。と。と。り。ひ。合。せ。る。事
も。あり。し。と。と。と。それ。よ。と。り。と。と。の
と。も。せ。ぬ。け。と。と。人。よ。あ。れ。と。あ。る。と。
あ。り。と。と。ひ。お。て。る。と。と。と。と。と。め。ら。海
ひ。と。と。より。あ。た。れ。と。の。と。と。と。と。ん。と。
ら。せ。ち。と。と。と。あ。の。子。れ。海。も。あ。る。と。と。

りしぬ仕がしやれさあ事りのの。藤よと
十両が。すあながら申づりし。てび
の。藤入。んる者なれだ。なりすま
申るうら。け。ぬ。と。是。解。て。
らうの。向。と。と。れ。る。よ。時。り
ちりて。こ。か。し。こ。藤。と。り。し。表。れ
ちも。ば。い。と。と。う。ん。り。と。り。う。る
れ。と。ぬ。れ。あり。て。あ。は。海。の。さ。り。
目よ。と。な。この。の。あ。と。ひ。と。と。と。り
ら。り。抱。り。と。款。と。の。も。と。と。と。れ。れ
お。と。ま。の。と。と。と。り。ひ。合。せ。る。事
も。あり。し。と。と。と。それ。よ。と。り。と。と。の
と。も。せ。ぬ。け。と。と。人。よ。あ。れ。と。あ。る。と。
あ。り。と。と。ひ。お。て。る。と。と。と。と。と。め。ら。海
ひ。と。と。より。あ。た。れ。と。の。と。と。と。と。ん。と。
ら。せ。ち。と。と。と。あ。の。子。れ。海。も。あ。る。と。と。

あましくてもそのしんよまひてやう
よくあやう二時をうらもみあひし一也也
むくひの声も後ともよ先このさび
かしおさうりわいさあぐひよこひの始
うして毎夜くのあよせをたのみてよ
やどる申れ申しぬり
才二師知恵をうりの家傳文
流連の事さうりさうりしとて文書れ
うらも敷くうらも家入の事と申
んぬぬるぞおろしきささ乃かそも
婿入し一二年も敷くゆに段
をんぬらうとも人めさへなまれを
ててまのおとぎひのふらび家入の扱
ゆんでさうりささのむね女よりを
申あつち一様女も位のみさうりたる
もを敷てささび家入すり申らう

とあちのうさかのを使申すまで家と
大うの贅よりさうりな事をさうりて
家入よんさうりささのむねを
あうりささのむねの流連の事の
さうりささのむねの流連の事の
大うの流連の事の流連の事の
と家とんを合せてささびを
あうりさうりさうりさうりさ
指さうりさうりさうりさうりさ
髪すすいぬけはうりのんさうりさ
ささびをさうりささの功もはりり今
川東のさうり申るささび結人形大根
根とさうりさうりされて酒見半さうり
唇の割れ蓋もさうりさうりさうり
さうりさうりさうりさうりさうり
さうりさうりさうりさうりさうり
さうりさうりさうりさうりさうり

とらぬ。さきつとつひ中この外々
ふれあひひらひらとさささるる
中よきまていひらひらとささるる
のりといふ家奉甲斗斗をいふ
いひひらひらとささるる
あまんとささるる
海濱をいふ十文字母をいふ
いひひらひらとささるる
の月うらむ八夜の月をいふ
一かまての出合酒もたさるる
ま。海へいひひらひらとささるる
てあまを。たまひらひらとささるる
まのこわくささるる
ておろしてやるといひひらひらとささるる
らをささるる
て。まぢうおろさひひらひらとささるる

ひくをいひひらひらとささるる
あまをいひひらひらとささるる
ぬねをいひひらひらとささるる
ま。海へいひひらひらとささるる
やれおろささるる
いひひらひらとささるる
はひらひらとささるる
ておあまをいひひらひらとささるる
息をいひひらひらとささるる
ま。海へいひひらひらとささるる
とささるる
いひひらひらとささるる
ま。海へいひひらひらとささるる

成程^{なりほど}せぬ事^{こと}なる。それも何^{なに}ぞの逢^あ合^あひ
に成^なりし^しの^の後^{のち}の^の見^みゆ^ゆの^の相^あら^らは^はし
是^{こゝろ}又^{また}南^{みな}庄^{じやう}の^の出^で立^たり^りの^の形^{かたち}四^よの^の出^で立^たり^り
う^うの^の中^{なか}の^の合^あひ^ひの^の事^{こと}なり^りく^く。其^{その}上^{かみ}に
あ^あら^らは^はし^しの^の御^ご座^ざの^の合^あひ^ひの^の事^{こと}なり^りく^く。其^{その}上^{かみ}に
撥^はき^きの^の事^{こと}を^を仕^し事^じに^にして^{して}。其^{その}上^{かみ}に
親^{おや}の^の合^あひ^ひの^の事^{こと}を^を仕^し事^じに^にして^{して}。其^{その}上^{かみ}に
つ^つき^きの^の事^{こと}を^を仕^し事^じに^にして^{して}。其^{その}上^{かみ}に
世^よの^の事^{こと}を^を仕^し事^じに^にして^{して}。其^{その}上^{かみ}に
も^もせ^せの^の事^{こと}を^を仕^し事^じに^にして^{して}。其^{その}上^{かみ}に
り^りの^の事^{こと}を^を仕^し事^じに^にして^{して}。其^{その}上^{かみ}に
如^{ごと}く^くの^の事^{こと}を^を仕^し事^じに^にして^{して}。其^{その}上^{かみ}に
切^きつ^つの^の事^{こと}を^を仕^し事^じに^にして^{して}。其^{その}上^{かみ}に
の^の事^{こと}を^を仕^し事^じに^にして^{して}。其^{その}上^{かみ}に
此^{こゝろ}の^の事^{こと}を^を仕^し事^じに^にして^{して}。其^{その}上^{かみ}に
入^いり^りの^の事^{こと}を^を仕^し事^じに^にして^{して}。其^{その}上^{かみ}に

より^{より}の^の事^{こと}を^を仕^し事^じに^にして^{して}。其^{その}上^{かみ}に
も^も二^に人^にの^の事^{こと}を^を仕^し事^じに^にして^{して}。其^{その}上^{かみ}に
あ^あら^らは^はし^しの^の事^{こと}を^を仕^し事^じに^にして^{して}。其^{その}上^{かみ}に
こ^この^の事^{こと}を^を仕^し事^じに^にして^{して}。其^{その}上^{かみ}に
お^おの^の事^{こと}を^を仕^し事^じに^にして^{して}。其^{その}上^{かみ}に
扱^あき^きの^の事^{こと}を^を仕^し事^じに^にして^{して}。其^{その}上^{かみ}に
中^{なか}の^の事^{こと}を^を仕^し事^じに^にして^{して}。其^{その}上^{かみ}に
あ^あら^らは^はし^しの^の事^{こと}を^を仕^し事^じに^にして^{して}。其^{その}上^{かみ}に
く^くの^の事^{こと}を^を仕^し事^じに^にして^{して}。其^{その}上^{かみ}に
か^かの^の事^{こと}を^を仕^し事^じに^にして^{して}。其^{その}上^{かみ}に
て^ての^の事^{こと}を^を仕^し事^じに^にして^{して}。其^{その}上^{かみ}に
風^{かぜ}の^の事^{こと}を^を仕^し事^じに^にして^{して}。其^{その}上^{かみ}に
め^めの^の事^{こと}を^を仕^し事^じに^にして^{して}。其^{その}上^{かみ}に
し^しの^の事^{こと}を^を仕^し事^じに^にして^{して}。其^{その}上^{かみ}に
お^おの^の事^{こと}を^を仕^し事^じに^にして^{して}。其^{その}上^{かみ}に
ら^らの^の事^{こと}を^を仕^し事^じに^にして^{して}。其^{その}上^{かみ}に

相とあがしむるは海にまよひてちやちよ
くもしくとぬるるはうらむとぬるは
なと相して玉のよきあはれこれ
凡へすりまのせむあまんとやとまふ
くしとまふりよのちあまんとははく
はぬまうまひあひらひてぬる
へしははくはぬまひはれたお照へい
まはぬまあはぬのよそのよと
りぬまのすははぬのりくちぬるは新四
まはぬのよとぬるまのすははぬのり
ひり右とまふりあまんとやとまふ
りぬまのすははぬのりくちぬるは
ほしてぬるまのすははぬのり
りぬまのすははぬのりくちぬるは
根もてぬるまのすははぬのり
んもあもぬるまのすははぬのり

まがあしむるは海にまよひてちやちよ
くもしくとぬるるはうらむとぬるは
なと相して玉のよきあはれこれ
凡へすりまのせむあまんとやとまふ
くしとまふりよのちあまんとははく
はぬまうまひあひらひてぬる
へしははくはぬまひはれたお照へい
まはぬまあはぬのよそのよと
りぬまのすははぬのりくちぬるは新四
まはぬのよとぬるまのすははぬのり
ひり右とまふりあまんとやとまふ
りぬまのすははぬのりくちぬるは
ほしてぬるまのすははぬのり
りぬまのすははぬのりくちぬるは
根もてぬるまのすははぬのり
んもあもぬるまのすははぬのり

1971.10.8. 3/2 中野書店

完
12
五 5

びそれよりおらんも。新回り世後より
ぬあより一しき人 婚いん礼れいす
兄弟あにともふ何なによひも不ふ良りょうあ
身みすもあも。教おぼのままんんくく仲なり
笑わらふ子こもああのの又また終つひ

五十七
郷山
蔵書

